

令和元年12月20日（金曜日）

美里町議会行財政・議会活性化
調査特別委員会会議録

（第1日目）

令和元年 美里町議会行財政・議会活性化調査特別委員会会議録（第1号）

令和元年12月20日（金曜日）

出席委員（14名）

副委員長 鈴木宏通君

委員 吉田眞悦君

吉田二郎君

手島牧世君

藤田洋一君

柳田政喜君

櫻井功紀君

千葉一男君

村松秀雄君

平吹俊雄君

佐野善弘君

山岸三男君

前原吉宏君

福田淑子君

欠席委員（1名）

委員長 我妻 薫君

議長 大橋 昭太郎君

議会事務局職員出席者

議会事務局長

事務局次長兼議事調査係長

主 事

佐藤 俊幸君

高橋 美樹君

高橋 秀彰君

令和元年12月20日（金曜日） 午前9時30分 開議

第1 議会懇談会取りまとめについて

第2 令和元年議会懇談会の検証と次年度への提案について

本日の会議に付した事件

第1 議会懇談会取りまとめについて

第2 令和元年議会懇談会の検証と次年度への提案について

午前9時30分 開議

○副委員長（鈴木宏通君） これより委員会を始めたいと思います。

委員長が欠席のため、美里町議会委員会規則第6条の規定により、副委員長の鈴木が職務を行いますので、よろしくお願いします。

ただいまから行財政・議会活性化調査特別委員会を開きます。

議会懇談会取りまとめ（案）及び令和元年議会懇談会検証と次年度への提案（案）につきましては、既に皆様にお届けしたとおりです。

ただいまの出席委員14名ですので、本特別委員会は成立しています。

15番我妻委員から欠席するとの申し出がありました。

これより本日の会議を開きます。

日程第1 議会懇談会取りまとめについて

○副委員長（鈴木宏通君） 日程第1、議会懇談会取りまとめについてを議題とします。

議会懇談会実施要綱では、議会懇談会での意見、要望、提言等について各班で取りまとめたものを合同会議で調整、分類し、行財政・議会活性化調査特別委員会で整理し、確認することとしております。班ごとに取りまとめたいただいたものをもとにして合同会議で作成した議会懇談会取りまとめ（案）をお手元に配付しております。

まず、案について合同会議の副座長から説明をいただきます。前原吉宏副座長、登壇願います。

〔前原吉宏合同会議副座長、登壇〕

○合同会議副座長（前原吉宏君） おはようございます。議会懇談会合同会議副座長の前原吉宏です。どうぞよろしくお願いします。

座長が委員長の職務を行っておりますので、副座長であります私から説明させていただきます。

お手元の議会懇談会取りまとめ（案）について御説明いたします。

最初に、1ページをお開きください。

10月10日から16日まで4日間の会場及び参加者数、時間、担当議員を記載した結果一覧表です。参加者数は12会場全体で145人、1会場平均12.1人という結果でございました。昨年の156人より11人少なく、参加者5人以下の会場が3会場ありました。会場による参加者数の開きが大きかったと言えます。

議会懇談会で出された質問、意見・要望については、各班長から報告されたもの、内容が同

じょうなものを整理いたしまして、議会関係が62件、執行部に伝えるもの38件、合計100件に取りまとめましたことを御了解いただきたいと思います。

次に、2ページをお開きください。

ここには記載例を載せてございます。3ページ以降の表については、この記載例を参考にござらんいただきたいと思います。

3ページから5ページの整理番号25番まで、総務、産業、建設常任委員会の研究テーマに関する部分です。質問、意見・要望の順に懇談会場で納得いただいたもの、あるいは常任委員会で検討すべきと思われるものなど、記載してございます。

5ページの整理番号26番から8ページの整理番号47番までは、教育、民生常任委員会の研究テーマに関する部分でございます。総務、産業、建設常任委員会と同様に整理してございます。

整理番号48から9ページの整理番号62については、常任委員会の研究テーマ以外の議会に関する質問、意見・要望でございます。これらは今後の議員活動に資するために共有化するものでございます。

10ページ以降につきましては、執行部に伝えまして、執行部に対応、あるいは検討していただく内容と判断し、整理したものでございます。本日、特別委員会で御確認いただければ、早速執行部に伝えて、対処をお願いしたいと考えております。

以上で議会懇談会取りまとめ（案）について、御説明を終わります。

○副委員長（鈴木宏通君） これをもって、合同会議副座長の説明を終わります。

これより、案について委員各位の御意見をいただきたいと思います。御意見ありませんか。

（「なし」の声あり）

御意見なしと認めます。御意見がないようですので、議会懇談会取りまとめについては案のとおりとしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（鈴木宏通君） 異議なしと認めます。よって、議会懇談会取りまとめについては案のとおりとすることに決しました。

なお、執行部に対する項目につきましては、早速議長を通して伝達し、執行部での対応を求めることにしたいと思います。また、議会懇談会結果につきましては、後日、町の行政情報コーナー及びホームページで公表したいと思います。

○副委員長（鈴木宏通君） 日程第2、令和元年議会懇談会の検証と次年度への提案についてを議題といたします。

議会懇談会実施要綱では、検証と次年度実施に向けた提案について、合同会議で行うこととしており、合同会議で作成した令和元年議会懇談会検証と次年度への提案（案）をお手元に配付しております。

案について合同会議副座長から説明をいただきます。前原吉宏副座長、登壇願います。

〔前原吉宏合同会議副座長、登壇〕

○合同会議副座長（前原吉宏君） 議会懇談会合同会議副座長の前原です。どうぞよろしくお願い致します。

お手元の令和元年議会懇談会検証と次年度への提案（案）について御説明いたします。

経過については、議会懇談会実施要綱6（2）1）③において、合同会議が当該年の議会懇談会について検証し、次年度実施における提案を行うこととしていますので、このたび、合同会議で検証を行い、次年度への提案を行うものであります。

それでは、検証結果について申し上げます。

1つ目です。令和元年議会懇談会は12会場で開催し、参加者は145名で、昨年より11名減少、5名以下の会場が3会場ございました。会場によって参加者数の開きが大きかった、また、若い方や女性の参加者が少ない状況が見られました。

2つ目です。開催場所と開催時間の選定に当たっては、地元の意向を反映できるかどうか課題であります。開催時間を指定された会場は、参加者が多い傾向にございました。

3つ目です。常任委員会にかかわる報告資料についてですが、簡潔で適切な内容のものとして参加者へ配布され、事前配布及びホームページへの掲載が行われました。

4つ目です。政策提言に反映すべく、常任委員会の研究テーマを中心に町民から活発な意見をいただきました。今回報告会から懇談会へ名称を変更いたしましたが、内容等への不評は出ませんでした。また、意見・要望等については、引き続き執行部に関する事項が多くありました。

5つ目です。町民の声を直接かつ広く聴取し、取りまとめに当たってはそれらを集約して全議員の共有化に重点を置くことを再確認しました。

次に、次年度への提案を申し上げます。次年度への提案については、上記の検証結果を踏まえ、本特別委員会第2分科会で行われる、開かれた議会についての「議会懇談会」の検証・検討に委ねるであります。合同会議としましては、本年6月11日の本特別委員会において第2分

科会から出された中間報告の確認、決定事項④「議会報告会」の部分ですが、ことしから議会報告会の名称を議会懇談会とし、従来どおりの開催とする、また、内容を整理して方向性を示すためには、時間を要することから、来年の議会懇談会に向けて引き続き検証していくということでもありますので、次年度のあり方については、引き続き第2分科会の検証・検討に委ねるとするものでございます。

以上で令和元年議会懇談会の検証と次年度への提案（案）についての説明を終わります。

○副委員長（鈴木宏通君） これをもって、合同会議副座長の説明を終わります。

これより、案について委員各位の御意見をいただきます。御意見ありませんか。7番佐野善弘委員。

○委員（佐野善弘君） 7番佐野でございます。

この質問というのは、検証結果と別々でよろしいんですか。この次年度への提案と一緒になんです。どうなんですか。

○副委員長（鈴木宏通君） もう少し内容をきちっと伝えてください。

○委員（佐野善弘君） 項目が、経過、検証結果、次年度への提案とありますよね。3つあるんですけども、これは全部一括して質問させていただいてよろしいでしょうか。まず、検証からやるとか。

○副委員長（鈴木宏通君） 質問につきましては、今回の検証と次年度への提案についてでございますので、その部分に絞ってお願いしたいと思います。

○委員（佐野善弘君） それはわかるんです。

○副委員長（鈴木宏通君） 質問ですか。意見ですか。

○委員（佐野善弘君） 質問です。質問で、検証結果と次年度への提案、2つあるんですけども、全部よろしいんですか。一括でよろしいですか。

○副委員長（鈴木宏通君） では、1つずつをお願いします。

○委員（佐野善弘君） 1つずつですか。まず、検証結果から質問させていただきます。

1番の参加者の関係なんですけれども、会場によって大分開きがあったということと、若い方や女性の参加者が少ない状況ということでございますけれども、これにつきましては、合同会議の中でどのように分析したのか。それで、10年間のデータを見ますと、非常にこの内容が顕著になってきているような状況になっているものですから、その辺が、分析をどのようにしているのか。

○副委員長（鈴木宏通君） 前原副座長、お願いします。

○合同会議副座長（前原吉宏君） 前原です。

1 番の会場によってでございますが、まず、今年度の会場を決めるに当たりましてコミュニティセンターを中心に会場を選定したということでございます。ですので、例えば前年、その前の年、過去3年前、もっと前に戻りますと、例えば志賀町とか、そういうところは参加者数が多かったんですけども、コミュニティセンターということですので、今回は抜けてしまいました。また、参加人数が多い部分に関しましては、私、報告したとおり、時間指定の会場においては、そのとおり、参加者数がかなり多かったのかなという話が出ております。会場によって、そういう前振りの御案内をしているところは多かったなと意見が出ておりました。

以上です。

○副委員長（鈴木宏通君） 7 番佐野委員。

○委員（佐野善弘君） 今、検証結果の2 番の答えの報告をいただいているようなんですけども、2 番も入るんですけども、会場によって開きがあったとか、参加者の多いところは時間を指定されるところが多いとか。ですから、今後例えば来年する場合、この結果を踏まえて、次年度というのは下に書いてあるとおりなんですけれども、どのようにやったらいいのか、検証、それから分析ですね。その中で来年度への提言というのは出てくるとは思いますけれども、その辺の分析というのはしているのか。方向性を決める際に、やはりその辺の分析というのは必要じゃないかなと思いますけれどもね。あと、会場に参加者の動向があると思いますけれども、地域の方以外の方も来ているような状況ですので、その辺の動向とか、その辺は分析しているのかどうか、そういう内容ですけども。

○副委員長（鈴木宏通君） 前原副座長。

○合同会議副座長（前原吉宏君） 佐野委員の、2 番までまいで回答してしまったことは、そのとおりでございますが、会場によって参加者数の開きがあったというのは、先ほど申し上げたとおりでございますが、今回のコミュニティセンターという部分に絞ってしまいますと、なかなか今まで多かったところを入れることはできないという部分が見られたということです。若い女性に関しては、毎回話は出ているようでございますが、なかなか難しいのかなという話が出ております。

それで、今お話の中で、次年度についての部分まで答えてよろしいんでしょうか。ちょっとそこは抜きますので、検証結果の1 番、2 番でございますので、話の中では、やっぱり参加者の多いところにもっと行ったほうがいいんじゃないかという話が出ております。また、別の行政区の方が参加している部分についても話が出ております。これについては、その方の都合と

いうのがあると思いますので、一概にはなかなか判断するのは難しいのかなという話になりました。

以上です。

○副委員長（鈴木宏通君） 7 番佐野委員。

○委員（佐野善弘君） これは3回で終わりなんですか。いいんですか。

検証ということなんですけれども、やはり検証して原因というのがあると思いますけれども、開きがあったということで。ですから、今回コミュニティセンターを中心ということでの開催ということなんですけれども、それは検証の結果、やはりことはコミュニティセンターを中心に会場を選定したということでございますけれども、それはやはり会場の多いところに従来どおり戻すべきなのか、それは次年度へのかかわりがありますけれども、まず、検証ということで、そういう方向性というか、検証をやはり話し合われたのか、それと、やはり若い女性というのは、何で少なかったのか。やはりそれは日程の関係なのか、やはり時間の関係なのか、その辺は分析したのかどうか、お伺いしたいと思います。

○副委員長（鈴木宏通君） 傍聴及び録音の申し出がありましたので、これを許可しております。

11番前原副座長。

○合同会議副座長（前原吉宏君） 何度もお答えしているとおりなんですが、会場、先ほど私、申し上げましたとおり、例えば志賀町、そういう集会所に関しては、参加者がやっぱり過去多かったですねという話が出ております。ですので、会場についてはもう少し精査して、ただ、言えるのは、各地区ごとに要望があるところを中心に行きたいねという話は出ました。ただし、持ち回りで、行っていないところにも行かなければならないねという話が出ておりますので、会場に関しては、そういう若干の、100%それに当てられればいいんですけれども、なかなか難しいと。今年度に関しては、コミュニティセンターという枠の中で選定したという部分でございます。

もう一つ、若い女性に関しましては、先ほども申し上げましたとおり、PRの仕方は工夫しなければならないとは思いますが、なかなか難しいのかなと。それしか答えようがないのかなと思います。

以上です。

○副委員長（鈴木宏通君） 7 番佐野善弘委員。

○委員（佐野善弘君） 今、若い女性じゃなくて、若い方や女性ということで訂正したいと思います。

2番でよろしいですか、質問して。

○副委員長（鈴木宏通君） はい。よろしいです。

○委員（佐野善弘君） 2番の地元の意向を反映できるかどうかとか、開催時間を指定された会場は多いという傾向があったようなんですけども、そういうことが、これも次年度へのかかわりが出てくると思いますけれども、今後、そういうふう to開催のやつをこうすれば、そういうことをやったほうがいいのかというのは、その辺はこういう結果が出ているものですから、その辺の次年度への提案もあるんですけども、その辺の分析というのはしていたんでしょうか。

○副委員長（鈴木宏通君） 前原副座長。

○合同会議副座長（前原吉宏君） お答えします。

ことしの一覧表を見ていただきますと、10月15日の1班の駅前白寿館ですね。これが時間指定が10時でございました。参加者は16名、この日の中ではトップでございますね。参加人数がこの日の中では多かったということです。前年なんですけれども、前年は、青生コミュニティセンターがやっぱり同じような形で時間指定をやりまして、昨年34名と記憶しております。でするので、時間指定していただいた地域の会場においては、我々の合同会議の中で出た話では、担当地区の区長さんが、なかなか一生懸命勧誘というか、誘っていただいたというのが話の中で出ております。

以上です。

○副委員長（鈴木宏通君） 7番佐野委員。

○委員（佐野善弘君） 続きまして、次年度への提案ということでございますけれども、よろしいですか。

○副委員長（鈴木宏通君） はい。

○委員（佐野善弘君） 第2分科会の報告書を先ほど副委員長に読み上げていただいて、そのとおりなんですけれども、それで、ことし第2分科会で、議会報告会を懇談会に名称を変更してやって、内容は従来どおりということで整理して、ただ、検証する時間がちょっと足りなくて、一部の内容が整理されていないという状況で、ただ、文書はそうように受け取られないような内容になっていて、全体の内容というか、そのように整理、文書はなってしまったんですけども、その中で、これはやはりそういう検証・検討については、そういう方向性で、第2分科会の検証というのはそういう方向性でよろしいでしょうか。

○副委員長（鈴木宏通君） もう一度整理をされて、端的に質問をお願いいたします。

○委員（佐野善弘君） 議会報告会の文章が、名称が変更ということと従来どおりの開催ということがあるんです、ことしからということで。これは名称だけではなくて、懇談会にする名称と、あと、開催も従来どおりということで1つは整理しているんですけども、一部内容が、時間がなくて方向性が示されなくて、引き続き検証していくということで整理して、第2分科会から特別委員長に報告したときは口頭でそういうことを答弁しているんですけども、そういうまとめ方でよろしかったんでしょうか。

○副委員長（鈴木宏通君） 佐野委員。今回の令和元年度議会懇談会の検証と次年度への提案について、今行っております。もちろん今佐野委員が言ったのも次年度への提案ということでございますが、実際今回の合同会議で提案しています案につきましては、まず、令和元年度に行われました懇談会についてでございます。今回も次年度への提案につきましても今、前原副座長より報告があったとおり、今年度の検証結果を踏まえ、第2分科会に今のところ、検証中であるということを踏まえながら提案されたものと思いますが、それに伴っての御発言として受けとめてほしいんですが、今、第2分科会で進行中ではございますが、その過程、またその中身については、合同会議の中では把握するべきではないということで、今回合同会議独自の案ということで今、前原副座長から御説明があったとおりだと思いますが、いかがでしょうか。もう一度お願いします。質問の中身をもう少し。

○委員（佐野善弘君） ことしの6月の中間報告で報告した内容のとおりなんですけれども、第2分科会の方の考えと、先ほどなった内容が、内容の中身でちょっと食い違っているのかなということで、一応第2分科会で検証する際に、その辺も中間報告の読み方だと思いますけれども。ですから、第2分科会の委員の方々の整理している内容のとおり、この提案ですと、最初から全部検証していかなくはわからないのかなという文章にもとれるんですけども、ですから、私が言いたいのは、ことしの中間報告した内容の続きということでよろしいでしょうか。その検証でいいのか。この文章からすると、最初から検証しなぐはわからないのかなという文章にとれるものですから、その辺の確認でした。

○副委員長（鈴木宏通君） わかりました。前原副座長。

○合同会議副座長（前原吉宏君） 文字にすると短くまとめてしまったのでそういうことなんです。佐野第2分科会委員長の言うとおりの、6月の中間報告書にございますように、内容の整理に向けて、方向性を示すためには時間を要することから、来年度の議会懇談会に向けて引き続き検証していく必要がございますと記載してあります。

なお、その下の部分に、名称の変更に伴う例規等の改正が必要である、そのとおり述べられ

ておりまして、内容の整理については、まだまだ、今年度初めてやったことにより、それらを第2分科会の中でどうするかというのを委ねるという部分でございますので、そういうふうに御理解していただきたいと思います。

○副委員長（鈴木宏通君） ほかに意見ございませんか。14番千葉委員。

○委員（千葉一男君） 余り積極的に参加していないところで言うのもあれですけども、来年度に向けての提案というところで、ちょっとお伺いしたいと思います。

この文章から、来年度の提案については、その行動主体は本特別委員会第2分科会となっておりますね。ですから、来年度のやり方は、第2分科会の現在の活動に検証結果を委ねるというふうな書き方だと思います。したがって、ここに委ねるために今回の検証結果をどう引き継いでここに反映させていくかということについては、どういう手続といいますか、間を、こうだから後は頼むよじゃなくて、どういにかかわりを持ちながら来年度に結びつけるかと結論を出したのか、教えていただきたいと思います。

○副委員長（鈴木宏通君） 11番前原副座長。

○合同会議副座長（前原吉宏君） 検証結果にまとめてはございますが、それらで足りない部分に関しましては、第2分科会の中にもそのとおり、議会懇談会に出席している方も当然いるわけでございます。ですので、その方、また、私、または座長、それらにお話を聞いていただくのも一つの方法だと思いますので、文字で足りない部分に関しましては、そういう形で協議に参加できればなと思います。

以上です。

○副委員長（鈴木宏通君） 14番千葉委員。

○委員（千葉一男君） 私たちもこの懇談会であったり、報告会という名称はわかりましたけれども、この問題を大変難しい、取り組みにくい事業といいますか、我々の仕事だと思います。そういう中で、よく連携をとって、来年度どうしたらいいかということをぜひ検討していただく。難しいから検討してもらいたいんですよ。というのは、先ほちょっと志賀町でと言われましたけれども、私の経験的に言いますと、そこの区長さんがどれだけ一生懸命やるかによってほとんど決まっているんじゃないかなということも1つ。それから、言われたのは、会場のリクエストによってこっちが実行していったというところ。やはり私たちは、こうしてもらいたいという意思を出していますから、聞くほうが。そうすると、当然それには責任を感じますから、当然参加者はふえる傾向にあると、一般的には。そういうこともやっぱり大事にしながら、ぜひ来年にはもう少し人が集まるように検討していただければなと思います。これはもう

お願いみたいなものですが、そう思いますので、よろしくお願いいたします。

○副委員長（鈴木宏通君） 御要望ということでよろしいですね。（「はい」の声あり）

そのほか、御意見ありませんでしょうか。13番福田委員。

○委員（福田淑子君） 13番福田です。

次年度への提案ということで、第2分科会で、これから検証・検討に委ねるということですが、この検証結果を踏まえて今後に何を求めるのかというのがよく見えてこないと思いますか、例えば開催場所、時間、時期はどうだったのかということも全部、全て入ると思いますけれども、そのほかに懇談会のあり方というんですか、そういうことも求めているのか。第2分科会に全部振られても、一体俺たちは何を検証していくのかよく理解できなければ、これは前に進めないと思うので、この検証結果は結果としてわかりましたけれども、何を第2分科会で検証して、それをちゃんと検討していくのかという部分について、ちょっといまいち見えないのかなと思いますけれども、第2分科会の方も大変だなとは感じますけれども、その辺については、どうでしょうか。

○副委員長（鈴木宏通君） 11番前原副座長。よろしくお願いいたします。

○合同会議副座長（前原吉宏君） 非常に答えづらいんですが、第2分科会の中で、先ほど佐野委員にお話ししたとおり、まず、議会懇談会に関しましては、今年度は名称変更で初めてでございます。それらの部分を検証して、検証結果に記載してあることを、また、足りなかった部分に関しましては、第2分科会の中でも、先ほど申し上げましたとおり、懇談会に出席している議員もでございます。委員もでございます。ですので、それらの意見、なかなかまとめるといいましても、なかなか思い浮かばないんですが、正直この中に書いてある部分で整理していただいてやるのかなと。第2分科会の中で、これらの議会懇談会についての検証結果をもとに検討していただくという、それ以外ちょっと言いようがないんですが、よろしいでしょうか。

○副委員長（鈴木宏通君） 13番福田委員。

○委員（福田淑子君） そうしますと、この検証結果1、2、3、4、5とあります。これに基づいて行うということでよろしいですか。検証結果に基づいて、「踏まえ」ですから、今の答弁ですと、この検証結果に基づいて、1、2、3、4、5、この5項目について行うということでよろしいでしょうか。それがはっきりしないと第2分科会でも大変かなと思いますので。

○副委員長（鈴木宏通君） 11番前原副座長。

○合同会議副座長（前原吉宏君） 「踏まえ」という言葉があったとしたら訂正したいと思い

ます。

先ほど、6月11日の中間報告でございます内容を整理して方向性を示すためには、時間を要すると。来年の議会懇談会に向けて、引き続き検証していく必要がございます。ですので、それら過去のものを含めて、いろいろ検討してもらいたいという部分でございます。

以上です。

○副委員長（鈴木宏通君） 13番福田委員。

○委員（福田淑子君） 次年度への提案のところに「上記の検証結果を踏まえ」となっているので、一体何を検証していくのか、よくはっきりしないと第2分科会は大変かなと思ひまして。この1から5までの項目に従ってやっていくのかなとも捉えたんですけれども。（「休憩お願いします」の声あり）

○副委員長（鈴木宏通君） 休憩いたします。

午前10時08分 休憩

午前10時12分 再開

○副委員長（鈴木宏通君） それでは、再開いたします。

ただいまの出席委員は14名ですので、本特別委員会は成立しております。

休憩前に引き続き会議を行います。11番前原副座長。

○合同会議副座長（前原吉宏君） 休憩をいただきまして、ありがとうございます。

先ほどの福田委員からの意見なんですけれども、上記の検証を踏まえまして、来年度改めて第2分科会で、この議会懇談会についてお話し合いを進めてもらいたいということでございます。

以上です。

○副委員長（鈴木宏通君） ほかに御意見ありませんか。7番佐野委員。

○委員（佐野善弘君） 7番佐野でございます。

そうすると、6月に報告いたしました中間報告の内容がまたかわるという内容で私は今聞いたんですけれども、それで、分科会で検証するのはいいんですけれども、合同会議の議会実施要領等を見ますと、次年度の提案というのは、合同会議でやるという、検証するという事になっているんですけれども、そういうことで、それと、この検証の内容を、懸案が少し見えてきているのかなという状況なんですけれども、ですから、中間報告のとおりをすると、この検証の懸案事項は、検証しないということになるんですけれども、ですから、中間報告をかえて、

先ほど副座長からのお話にあったのは、ですから、検証結果も踏まえて、また別な検証をしなくてはわからないということで、今お聞きしたんですけれども、そのような内容でいいのか。そうすると、結構いろいろ2月までという合同会議のスケジュールもあるんですけれども、結構そのほかにもいろいろ今やっているんですけれども、検証を。非常に厳しい内容になるのかなということです、その辺の、もう一回6月にやった中間報告の内容でいいのか。今回の検証結果等を踏まえてということは、この5項目をやるということだと、結構いろいろ議論をした中で、内容をかえるかどうかというのは検証しなければわからないですけれども、その辺はもう一回どのように整理するのか。この後、分科会でいろいろ検証する時間をとっていたんですけれども、ちょっと時間が大分過ぎてしまったんですけれども、ということでございます。

○副委員長（鈴木宏通君） 11番前原副座長。

○合同会議副座長（前原吉宏君） 6月の中間報告がベースになってございます。ですので、それらをベースにさせていただいて、今回記載してあります検証結果を踏まえて、議会懇談会について、次年度に向けて皆さんで議論していただきたいということでございます。

以上です。

○副委員長（鈴木宏通君） ほかにございませんか。（「なし」の声あり）

意見がないようですので、令和元年議会懇談会の検証と次年度への提案につきましては案のとおりとしたいと思います、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（鈴木宏通君） 御異議なしと認めます。よって、令和元年議会懇談会の検証と次年度への提案については案のとおりとすることに決しました。

以上をもちまして、行財政・議会活性化調査特別委員会の本日の会議を終了いたします。

大変御苦勞さまでございました。

午前10時18分 閉会

上記会議の経過は、事務局長佐藤俊幸が調製したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名いたします。

令和元年12月20日

委員長

副委員長